2011 年 3 月　第 2 版

凍結乾燥イヌインスリン標準品の使用方法

超高感度ラットインスリン測定キット
超高感度マウスインスリン測定キットで使用の場合

インスリン標準溶液

凍結乾燥イヌインスリン標準品に 100 μL の蒸留水またはイオン交換水を加えて溶解して下さい。インスリン標準溶液は 20 ng/mL となります。そのインスリン標準溶液を **G 検体希釈液**で希釈し、下記に示しますように 0 ng/mL から 6.4 ng/mL の標準曲線用インスリン溶液を調製して下さい。

	標準曲線用インスリン溶液(ng/mL)							
	6.4	3.2	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0
インスリン標準溶液	40							
検体希釈液	85	50	50	50	50	50	50	50
		↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	
総液量	125	100	100	100	100	100	100	

(μL)

調製した標準曲線用インスリン溶液を取扱説明書に従い使用してください。
他のコンポーネントの使用方法も取扱説明書通りです。
ご不明の点がございましたら、お問い合わせ下さい。

2011 年 3 月　第 2 版

凍結乾燥イヌインスリン標準品の使用方法

ラットインスリン測定キット

マウスインスリン測定キットで使用の場合

インスリン標準溶液

凍結乾燥イヌインスリン標準品に 200 μL の **G 検体希釈液**または培地等※を加えて溶解して下さい。インスリン標準溶液は 10 ng/mL となります。そのインスリン標準溶液を **G 検体希釈液**または培地等※で希釈し、下記に示しますように 0 ng/mL から 10 ng/mL の標準曲線用インスリン溶液を調製して下さい。

	標準曲線用インスリン溶液(ng/mL)							
	10	5	2.5	1.25	0.625	0.313	0.156	0
インスリン標準溶液	200							
検体希釈液または培地等※		50	50	50	50	50	50	50
		↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	↗ 50	
総液量	200	100	100	100	100	100	100	

(μL)

※　検体の種類および使用量により組成が異なります。

血清・血漿検体を測定する場合 ・・・・・・・・・・・G 検体希釈液
培地等の検体を 5 μL で測定する場合・・・・・・・・・G 検体希釈液
培地等の検体を 5 μL を超える量で測定する場合・・・検体と同一組成の培地等

調製した標準曲線用インスリン溶液を取扱説明書に従い使用してください。

他のコンポーネントの使用方法も取扱説明書通りです。

ご不明の点がございましたら、お問い合わせ下さい。